

# 医療関係 まとめ

1. 宮城県内で被害を受けた病院は多くなかった  
〈東日本大震災を経て強くなった? → 県内病院の耐震化率高い〉
2. 夜中にもかかわらず県内病院のEMIS入力は迅速に行われた  
〈コロナで緊張状態にある? → 県庁、保健所の迅速対応(台風19号の教訓も含む)、通信が途絶しなかった〉
3. 病院に電気がこないと...
  - ① 診療機能が大きく低下する 〈非常用電源を過信するのはよくない〉
  - ② 暖房(冷房)が使えない
  - ③ 給食を作れない 〈いずれも「防ぎえた災害死」の原因になり得る〉
4. スプリンクラーの誤作動・損壊による水損が複数件あった
5. コロナ禍における予定外の人動き(避難所への移動、高齢者施設・病院への人の出入り、など)や断水・寝不足・ストレス・寒冷曝露など体調悪化要因あり。今後1~2週間は新型コロナ陽性者数の推移に注意が必要